

## 問題発見型 / 解決型学習(FBL/PBL) テーマ提案 ( 学生募集内容 )

テーマ名称	若狭 - 北桑 - 京北 - 京都を結ぶ現代の Cultural Route をデザインする - 集落エリアにおける新たな居住のデザイン Vol.2 : 集落エリア間広域連携は実効化できるか -
実施責任者	工学研究科建築学専攻 教授 神吉紀世子
実施協力者	フィールド協力者 <ul style="list-style-type: none"> <li>・ NPO 法人京北コミュニティビジネス</li> <li>・ 京都府立ゼミナールハウス</li> <li>・ 京北自治振興会 ( 会長 久保敏隆 )</li> <li>・ 京北森林組合</li> <li>・ 日本風景街道西の鯖街道 他 ( 調整中 )</li> </ul> International Discussant <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 飯田恭子 europäischen LEADER Region Regionalforum Fulda-Südwest リージョナルマネージャー ( 在ドイツ , Dr.-Ing. )</li> </ul>
テーマの背景	サステナブルな居住域の形成と持続のためには、非都市エリア、すなわち、集落エリアが衰退せず持続することが必須である。都市縮小が生じている地域、メガシティ化の抑制が必要な地域のどちらにおいても、集落エリアの積極的な持続が伴う必要があるが、集落エリアは一般に第一次産業の低迷や人口減少・高齢化等の傾向にあって、当面の将来像の描出も容易ではない状況がある。同時に、都市化を免れた結果、重要な自然環境・歴史的環境も残されておりその保全のためにも地域の持続が望まれる。これらの背景から、必ずしも既存のスタイルに閉じない、新たな居住や生業のあり方が切実に求められている。集落エリアのこうした状況は、国内外を問わず存在し、新たなあり方の検討・議論は、1 地区に閉じず、異なる地区の間での連帯を活用することも重要になっている。なお、ここではいわゆる「地域活性化」は目標としておらず、少数が着実に「地域定住」することを目標と掲げている。
実習の概要	京都市北部山間部を対象地とし、とくに京北地区 ( 217.68km <sup>2</sup> ) を主たるフィールドとする。昨年度の vol.1 では、京北地区への新規来住者のための居住のデザインに注目した。本年度の vol.2 では、地区間の連帯の可能性に焦点をあてる。京北地区を京都市北部山間部としてではなく、福井県若狭地方から北桑を經由し京都市街地に至る一連の「Cultural Route 文化の道」の途上にあるということに目をむけたときに、どのようなアイデンティティが再構成できるか、同時に、若狭・北桑のアイデンティティをも再構成できるか、それらが集落エリアの居住のいかなる新たな特性を顕在化するか、可能性を追求する。 具体的には対象地でも構想がもたれている、若狭～京都市街地間をつなぐ、サイクルロードレースの企画立案を行い、これを通じて、現代の Cultural Route のあり方を設計するものとする。始点・終点の設定、ルート選択、ルートおよびその沿道地区の一体的把握とその演出設計、等の物理的企画に加えて、一つの Route としての真実性、Route のシークエンスとエリア間関係の捉え方の提案、地域性 ( 文化・生業を含む ) の取り上げ方と活用方法の立案等を含む。
実施計画、実施場所	主として、KRP、および、京北地区とする。現地踏査は京都市内から福井県小浜まで含める。詳細は実施計画を参照。

履修条件	京北地区や福井県で現地踏査等を実施する場合は土曜日・休日開催となる可能性が高い。複数回の休日を費やすことになることを前提としている。
募集人数	2～4名程度
募集締切	10月10日(土)
応募資格	応募多数の場合には、デザイン学予科生を優先する。
応募方法	以下の項目を記載したメールを送付。(予科生、本科生は別途指示に従うこと) To: kanki@archi.kyoto-u.ac.jp CC: fblpbl-application@design.kyoto-u.ac.jp Subject: [FBL/PBL 参加申込] テーマ名称 本文: 氏名、所属組織、役職・学年、メールアドレス、Web ページ、テーマ名称、背景知識・専門性、応募の動機、その他
履修者の決定	10月17日(金)までにメールで参加の可否を通知。
問題発見や解決に用いるデザイン理論やデザイン手法	Landscape Survey (現地踏査: 民家調査、集落調査、自然地調査, 史料: 旧版地理情報の解読等, 社会調査: 各種インタビュー調査, 生活史・生業史インタビュー他), グループワーク (プログラム企画立案) 等
理論や手法の学習方法	現地踏査は現地実習形式。参考文献・史料の扱い方、インタビュー調査の手法は事前講義で解説する。Web 上で参考情報を共有する。
実習の公開方法	終了後または逐次 Web 上で公開
成績評価方法	出席 4 割 活動状況 3 割 最終レポート・発表 3 割 (現地協力者の評価をうける可能性を検討中)
特記事項	とくになし

### 実施計画

コマ	日程	場所	実施内容
3	10月	京大/京北 (含・Skype Lecture)	オリエンテーション、集落調査の基本、既存制度・手法の実績と課題等、集落エリア将来構想の実績 (LEADER プログラム、コミュニティプログラム他)
5	11月	京大/京北 (含・Skype Lecture)	集落調査の設計、調査と提案の連動プログラムの設計、調査の実施
5	12月	京大/京北 (含・Skype Lecture)	調査の実施、提案の検討 第一次プレゼンテーション
2	1月	京大/京北 (含・Skype Lecture)	冬期条件下での提案確認等 最終プレゼンテーション

KRP: デザインイノベーション拠点 (京都リサーチパーク 9 号館 5 階)